

東アジアのマニエリスムについて

講師 平井敏晴

漢陽女子大学校（ソウル） 助教授

平井敏晴氏の東アジア認識は、非常に特異かつ斬新なものである。高山宏仕込みの「マニエリスム」という概念によって、これまでとはまったく異なる視座から東アジアをとらえる。まさにわれわれの研究室が推進している STRAW(トランスアジア世界観学: Studies of Trans-Asian Worldviews) と合致する研究である。

本コロキウムでは、以下のことを語っていただく。①東アジアのマニエリスムという研究テーマをどのように着想してきたか。②具体的には、東アジアをどうとらえるか。③マニエリスムとは何か。④東アジアのマニエリスムというテーマが可能な理由と、その意義。

平井敏晴助教授は1969年、栃木県足利市生まれ。現在、漢陽女子大学校助教授（ソウル）。金沢大学理学部で量子化学を専攻。卒業と同時に、ドイツ文学に転じ、東京都立大学大学院で写真主義、ロマン主義を研究。特に、博士課程ではドイツ・ロマン主義のノヴァーリスと自然科学について研究し、それを機にマニエリスム研究をスタートさせ、英文学の高山宏に教えを乞う。大学創立50周年の記念講演で招聘された松岡正剛、山口昌男、中沢新一の話に衝撃を受け、東アジア、文化人類学の要素を研究に加えることを模索しはじめ、これにより、日本と東アジアをつなぐ朝鮮半島の文化に関する意識が芽生える。韓国のマニエリスムを探求すべく、2005年に渡韓。だが、韓国ではマニエリスムについてほとんど知られていないため、大学等の研究機関に一切頼らず独学で研究。その過程で、韓国マニエリスムを理解するためには周辺との比較が重要だと悟り、マニエリスムをテーマに東アジア各地を取材。その成果を今年、『中華と綺想』（工作舎）として出版予定。

日時：2024年7月12日（金）18時30分～20時30分

場所：京都大学 吉田南総合館 3階 334演習室

※対面と zoom のハイブリッドで開催します。zoom は、下記の通りです。

参加 Zoom ミーティング

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/97022375470?pwd=HYHBHiW8auGN0fLBx0KjBxurZZdYFw.1>

ミーティング ID: 970 2237 5470

パスコード: 887844

主催 : 京都大学 大学院人間・環境学研究科 小倉紀蔵研究室
連絡先 : ogurakizo@kd6.so-net.ne.jp (小倉紀蔵)